



REST API

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 5.0

NetApp
July 18, 2024

目次

REST API	1
概要	1
Swagger API Webページを使用したREST APIへのアクセス	2
Storage VMを追加および変更するためのREST APIワークフロー	2
リソースグループを作成および変更するためのREST APIワークフロー	3
オンデマンドでバックアップするREST APIのワークフロー	4
VMをリストアするためのREST APIのワークフロー	5
削除したVMをリストアするためのREST APIワークフロー	6
VMDKをリストアするためのREST APIのワークフロー	7
VMDKを接続および接続解除するREST APIワークフロー	8
REST APIワークフローによるデータストアのマウントとアンマウント	10
ジョブのダウンロードとレポートの生成に使用するREST API	11
組み込みのスケジュールを変更するためのREST APIワークフロー	12
停止したジョブを失敗としてマークするREST API	13
監査ログを生成するREST API	13

REST API

概要

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用して、一般的なデータ保護処理を実行できます。このプラグインには、Windows SnapCenter Swagger Webページとは別のSwagger Webページがあります。

- VMware vSphere用のREST APIを使用したVMとデータストアに対する次の処理について、REST APIのワークフローについて説明します。
 - Storage VMとクラスタの追加、変更、削除
 - リソースグループの作成、変更、削除
 - バックアップVM（スケジュールされたVMとオンデマンドのVM）
 - 既存のVMと削除されたVMのリストア
 - VMDKのリストア
 - VMDKの接続と接続解除
 - データストアのマウントとアンマウント
 - ジョブのダウンロードとレポートの生成
 - 組み込みのスケジュールを変更
- REST API for VMware vSphereでサポートされない処理
 - ゲストファイルのリストア
 - SnapCenter VMwareプラグインのインストールと設定
 - RBACロールまたはアクセスをユーザに割り当てる
- uri パラメータ

`uri`パラメータは常に「null」値を返します。

- ログインタイムアウト

デフォルトのタイムアウトは120分（2時間）です。vCenterの設定で別のタイムアウト値を設定できません。

- トークン管理

セキュリティ上の理由から、REST APIは、各要求で渡される必須トークンを使用し、クライアント検証のためのすべてのAPI呼び出しで使用します。REST API for VMware vSphereでは、VMware認証APIを使用してトークンを取得します。VMwareはトークン管理を提供します。

トークンを取得するには、REST APIを使用し `/4.1/auth/login` でvCenterクレデンシャルを指定します。

- APIノハアションノシテイ

各REST API名には、REST APIが最初にリリースされたSnapCenterのバージョン番号が含まれています。たとえば、REST APIは /4.1/datastores/{moref}/backups SnapCenter 4.1で初めてリリースされました。

今後のリリースのREST APIは通常後方互換性があり、必要に応じて新機能に対応するように変更される予定です。

Swagger API Webページを使用したREST APIへのアクセス

REST APIはSwagger Webページから利用できます。SnapCenterサーバまたはSnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを表示したり、APIを手動で呼び出したりするには、Swagger Webページにアクセスします。VMとデータストアに対して処理を実行するには、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用します。

このプラグインには、SnapCenterサーバのSwagger Webページとは別のSwagger Webページがあります。

開始する前に

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIの場合は、SnapCenter VMwareプラグインのIPアドレスまたはホスト名を確認しておく必要があります。



このプラグインでは、サードパーティ製アプリケーションとの統合を目的としたREST APIのみがサポートされており、PowerShellコマンドレットやCLIはサポートされていません。

手順

1. ブラウザで、次のURLを入力してプラグインのSwagger Webページにアクセスします。

```
https://<SCV_IP>:8144/api/swagger-ui/index.html
```



REST API URL には、 +、 を使用しないでください。、 %、 および &。

例

SnapCenter VMwareプラグインREST APIにアクセスします。

```
https://<SCV_IP>:8144/api/swagger-ui/index.html
```

```
https://OVAhost:8144/api/swagger-ui/index.html
```

ログインvCenter認証メカニズムを使用してトークンを生成します。

2. APIリソースタイプをクリックすると、そのリソースタイプのAPIが表示されます。

Storage VMを追加および変更するためのREST APIワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してStorage VMの追加処理や

変更処理を実行するには、規定の一連のREST API呼び出しに従う必要があります。

各REST APIについて、REST APIの先頭にを追加し `https://<server>:<port>` で完全なエンドポイントを形成します。

Storage VM処理を追加するには、次のワークフローに従います。

ステップ	REST API	コメント
1	/4.1/storage-system	Add Storage System 指定したStorage VMをSnapCenter Plug-in for VMware vSphereに追加します。

Storage VMの処理を変更するには、次のワークフローに従います。

ステップ	REST API	コメント
1	/4.1/storage-system	getSvmAll 使用可能なすべてのStorage VMのリストを取得します。変更する Storage VM の * 名前 * をメモします。
2	/4.1/storage-system	Modify Storage System 指定したStorage VMを変更します。他の必要な属性に加えて、手順1の * name * を渡します。

リソースグループを作成および変更するためのREST APIワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してリソースグループの作成処理と変更処理を実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIについて、REST APIの先頭にを追加し `https://<server>:<port>` で完全なエンドポイントを形成します。

リソースグループを作成するワークフローは次のとおりです。

ステップ	REST API	コメント
1	/4.1/policies	Get Policies VMware vSphere クライアントポリシーのリストを取得します。リソースグループおよびポリシー * frequency * の作成時に使用する * policyId * をメモします。ポリシーが表示されない場合は、REST APIを使用して Create Policy 新しいポリシーを作成します。

ステップ	REST API	コメント
2	/4.1/resource-groups	Create a Resource Group 指定したポリシーでリソースグループを作成します。手順1の * policyId * を渡し、他のすべての必須属性に加えて、ポリシー * frequency * の詳細を入力します。

リソースグループを変更するワークフローは次のとおりです。

ステップ	REST API	コメント
1	/4.1/resource-groups	Get List of Resource Groups VMware vSphereクライアントのリソースグループのリストを取得します。変更する * resourceGroupId * をメモします。
2	/4.1/policies	割り当てられているポリシーを変更する場合は Get Policies、VMware vSphereクライアントポリシーのリストを取得します。リソースグループおよびポリシー * frequency * を変更する際に使用する * policyId * をメモします。
3	/4.1/resource-groups/{resourceGroupId}	Update a Resource Group 指定したリソースグループを変更します。手順1から * resourceGroupId * を渡します。必要に応じて、手順2の * policyId * を渡し、その他すべての必須属性に加えて * frequency * の詳細を入力します。

オンデマンドでバックアップするREST APIのワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してバックアップ処理をオンデマンドで実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIについて、REST APIの先頭にを追加し <https://<server>:<port>> で完全なエンドポイントを形成します。

ステップ	REST API	コメント
1	/4.1/resource-groups	Get List of Resource Groups VMware vSphereクライアントのリソースグループのリストを取得します。バックアップするリソースグループの * resourceGroupId * と * policyId * をメモします

ステップ	REST API	コメント
2	/4.1/resource-groups/backupnow	Run a backup on a Resource Group リソースグループをオンデマンドでバックアップします。手順 1 の * resourceGroupld* と * policyld* を渡します

VMをリストアするためのREST APIのワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMバックアップのリストア処理を実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIについて、REST APIの先頭にを追加し https://<server>:<port> で完全なエンドポイントを形成します。

ステップ	REST API	コメント
1	に移動 http://<vCenter-IP>/mob	VMware Managed ObjectsのURLからVM MORefを検索します。リストアする VM の * MORef * をメモします。
2	/4.1/vm/{moref}/backups	Get VM Backups 指定したVMのバックアップのリストを取得します。手順 1 から * MORef * を渡します。リストアするバックアップの * backupid * をメモします。
3	/4.1/vm/backups/{backupId}/ snapshotlocations	Get snapshot locations 指定したバックアップのSnapshotの場所を取得します。手順 2 から * backupid * を渡します。この snapshotsList 情報に注意してください。
4	/4.1/vm/{moref}/backups/ availableesxhosts	Get available ESX Hosts バックアップが格納されているホストの情報を取得します。入手可能な EsxHostsList* 情報に注意してください。

ステップ	REST API	コメント
5	/4.1/vm/{moref}/backups/{backupId}/restore	<p>Restore a VM from a backup 指定したバックアップをリストアします。ステップ3と4の情報を restoreLocations 属性に渡します</p> <p> VMバックアップがパーシャルバックアップの場合は、パラメータを「false」に設定します restartVM。</p> <p> テンプレートであるVMはリストアできません。</p>

削除したVMをリストアするためのREST APIワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMバックアップのリストア処理を実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIについて、REST APIの先頭にを追加し `https://<server>:<port>` で完全なエンドポイントを形成します。

ステップ	REST API	コメント
1	に移動 <code>http://<vCenter-IP>/mob</code>	VMware Managed ObjectsのURLからVM UUIDを検索します。リストアするVMの * uuid * をメモします。
2	<code>/4.1/vm/{uuid}/backups</code>	Get VM Backups 指定したVMのバックアップのリストを取得します。手順1から * uuid * を渡します。リストアするバックアップの * backupid * をメモします。
3	<code>/4.1/vm/backups/{backupId}/snapshotlocations</code>	Get snapshot locations 指定したバックアップのSnapshotの場所を取得します。手順2から * backupid * を渡します。この snapshotsList 情報に注意してください。
4	<code>/4.1/vm/{moref}/backups/availableesxhosts</code>	Get available ESX Hosts バックアップが格納されているホストの情報を取得します。入手可能な EsxHostsList* 情報に注意してください。

ステップ	REST API	コメント
5	/4.1/vm/{uuid}/backups/{backupId}/restore	Restore VM from a backup using uuid or restore a deleted VM 指定したバックアップをリストアします。手順 1 から * uuid * を渡します。手順 2 から * backupid * を渡します。ステップ 3 と 4 の情報を restoreLocations 属性に渡しますVMバックアップがパーシャルバックアップの場合は、パラメータを「false」に設定しません。 *注：* テンプレートの VM はリストアできません。

VMDKをリストアするためのREST APIのワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMDKのリストア処理を実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIについて、REST APIの先頭にを追加し https://<server>:<port> で完全なエンドポイントを形成します。

ステップ	REST API	コメント
1	に移動 http://<vCenter-IP>/mob	VMware Managed ObjectsのURLからVM MORefを検索します。VMDKが配置されている VM の * MORef * をメモします。
2	/4.1/vm/{moref}/backups	Get VM Backups 指定したVMのバックアップのリストを取得します。手順 1 から * MORef * を渡します。リストアするバックアップの * backupid * をメモします。
3	/4.1/vm/backups/{backupId}/snapshotlocations	Get snapshot locations 指定したバックアップのSnapshotの場所を取得します。手順 2 から * backupid * を渡します。この snapshotsList 情報に注意してください。
4	/4.1/vm/{moref}/backups/vmdklocations	Get Vmdk Locations 指定したVMのVMDKのリストを取得します。 vmdkLocationsList 情報に注意してください。

ステップ	REST API	コメント
5	/4.1/vm/{moref}/backups/{backupId}/availabledatastores	Get Available Datastores リストア処理に使用できるデータストアのリストを取得します。手順1から * MOREf * を渡します。手順2から * backupid * を渡します。DatastoreNameList * の情報をメモしてください。
6	/4.1/vm/{moref}/backups/availableesxhosts	Get available ESX Hosts バックアップが格納されているホストの情報を取得します。手順1から * MOREf * を渡します。入手可能な EsxHostsList* 情報に注意してください。
7	/4.1/vm/{moref}/backups/{backupId}/restorevmdks	Restore a VMDK from a backup 指定したバックアップから指定したVMDKをリストアします。「* esxHost*」属性で、手順6の「availableEsHostsList」からの情報を渡します。手順3から5までの情報を vmdkRestoreLocations 属性に渡します。 <ul style="list-style-type: none"> • restoreFromLocation属性で、手順3のsnapshotLocationsListから情報を渡します。 • vmdkToRestore属性で、手順4のvmdkLocationsListから情報を渡します。 • restoreToDatastore属性で、手順5のDatastoreNameListの情報を渡します。

VMDKを接続および接続解除するREST APIワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMDKの接続および接続解除処理を実行するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

各REST APIについて、REST APIの先頭にを追加し <https://<server>:<port>> で完全なエンドポイントを形成します。

VMDKを接続するには、次のワークフローを実行します。

ステップ	REST API	コメント
1	に移動 <code>http://<vCenter-IP>/mob</code>	VMware Managed ObjectsのURLからVM MORefを検索します。VMDKを接続するVMの * MORef * をメモします。
2	<code>/4.1/vm/{moref}/backups</code>	Get VM Backups 指定したVMのバックアップのリストを取得します。手順1から * MORef * を渡します。リストアするバックアップの * backupid * をメモします。
3	<code>/4.1/vm/{moref}/backups/{backupId}/vmdklocations</code>	Get VMDK Locations 指定したVMのVMDKのリストを取得します。手順2の * backupid * と手順1の * moref * を渡します。 vmdkLocationsList 情報に注意してください。
4	<code>/4.1/vm/{moref}/attachvmdks</code>	Attach VMDKs 指定したVMDKを元のVMに接続します。手順2の * backupid * と手順1の * moref * を渡します。 * vmdkLocationList * を手順3から * vmdkLocations * 属性に渡します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: inline-block;">  <p>VMDKを別のVMに接続するには、alternateVmMoref属性にターゲットVMのMORefを渡します。</p> </div>

VMDKの接続を解除するには、次のワークフローを実行します。

ステップ	REST API	コメント
1	に移動 <code>http://<vCenter-IP>/mob</code>	VMware Managed ObjectsのURLからVM MORefを検索します。VMDKを接続解除するVMの * MORef * をメモします。
2	<code>/4.1/vm/{moref}/backups</code>	Get VM Backups 指定したVMのバックアップのリストを取得します。手順1から * MORef * を渡します。リストアするバックアップの * backupid * をメモします。

ステップ	REST API	コメント
3	/4.1/vm/{moref}/backups/{backupId}/vmdklocations	Get VMDK Locations 指定したVMのVMDKのリストを取得します。手順2の * backupid * と手順1の * moref * を渡します。 vmdkLocationsList 情報に注意してください。
4	/4.1/vm/{moref}/detachvmdks	Detach VMDKs 指定したVMDKを切断します。手順1から * MORef * を渡します。手順3の VMDK * vmdkLocationsList * の詳細を * vmdksToDetach * 属性に渡します。

REST APIワークフローによるデータストアのマウントとアンマウント

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してデータストアバックアップのマウントおよびアンマウント処理を実行するには、所定の順序のREST API呼び出しに従う必要があります。

各REST APIについて、REST APIの先頭にを追加し `https://<server>:<port>` で完全なエンドポイントを形成します。

データストアをマウントするには、次のワークフローを実行します。

ステップ	REST API	コメント
1	に移動 <code>http://<vCenter-IP>/mob</code>	VMware Managed ObjectsのURLからデータストアMORefを検索します。マウントするデータストアの * MORef * をメモします。
2	/4.1/datstores/{moref}/backups	Get the list of backups for a datastore 指定したデータストアのバックアップのリストを取得します。手順1から * MORef * を渡します。マウントする * backupid * をメモします。
3	/4.1/datstores/backups/{backupId}/snapshotlocations	Get the list of Snapshot Locations 指定したバックアップの場所に関する詳細を取得します。手順2から * backupid * を渡します。データストア * と、 * snapshotsLocalizationsList * リスト内の場所をメモします。

ステップ	REST API	コメント
4	/4.1/datastores/{moref}/availableEsxHosts	Get the list of Available Esxi Hosts マウント処理に使用できるESXiホストのリストを取得します。手順1から * MOREf * を渡します。入手可能な EsxHostsList* 情報に注意してください。
5	/4.1/datastores/backups/{backupId}/mount	Mount datastores for a backup 指定したデータストアバックアップをマウントします。手順2から * backupid * を渡します。「* datastore」属性と「location *」属性で、手順3の情報を渡します snapshotLocationsList。「* esxHostName *」属性で、手順4の「available EsxHostsList」からの情報を渡します。

データストアをアンマウントするには、次のワークフローを実行します。

ステップ	REST API	コメント
1	/4.1/datastores/backups/{backupId}/mounted	`Get the list of mounted datastores` です。アンマウントするデータストア * MOREf * をメモします。
2	/4.1/datastores/unmount	UnMount datastores for a backup 指定したデータストアバックアップをアンマウントします。手順1からデータストア * MOREf * を渡します。

ジョブのダウンロードとレポートの生成に使用するREST API

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMware vSphere Clientジョブのレポートを生成し、ログをダウンロードするには、VMware vSphereのREST API呼び出しを使用する必要があります。

各REST APIについて、REST APIの先頭にを追加し https://<server>:<port> で完全なエンドポイントを形成します。

ジョブの詳細情報を取得するには、**[Jobs]**セクションで次の**REST API**を使用します。

REST API	コメント
/4.1/jobs	Get all jobs 複数のジョブのジョブの詳細を取得します。、、などのジョブタイプを指定することで、要求の範囲を絞り込むことができます backup mountBackup restore。

REST API	コメント
/4.1/jobs/{id}	Get job details 指定したジョブの詳細情報を取得します。

[Jobs]セクションで次のREST APIを使用して、ジョブログをダウンロードします。

REST API	コメント
/4.1/jobs/{id}/logs	getJobLogsById 指定したジョブのログをダウンロードします。

レポートを生成するには、[Reports]セクションで次のREST APIを使用します。

REST API	コメント
4.1/reports/protectedVM	Get Protected VM List 過去7日間に保護されたVMのリストを取得します。
/4.1/reports/unProtectedVM	Get Unprotected VM List 過去7日間の保護されていないVMのリストを取得します。

組み込みのスケジュールを変更するためのREST APIワークフロー

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMware vSphere Clientジョブの組み込みスケジュールを変更するには、所定の順序でREST API呼び出しを実行する必要があります。

組み込みのスケジュールは、MySQLデータベースのダンプスケジュールなど、製品の一部として提供されるスケジュールです。次のスケジュールを変更できます。

Schedule-DatabaseDump
Schedule-PurgeBackups
Schedule-AsupDataCollection
Schedule-ComputeStorageSaving
Schedule-PurgeJobs

各REST APIについて、REST APIの先頭にを追加し `https://<server>:<port>` で完全なエンドポイントを形成します。

ステップ	REST API	コメント
1	/4.1/schedules	Get all built-in Schedules製品で最初に提供されたジョブスケジュールのリストを取得します。変更するスケジュール名と、関連付けられているcron式をメモします。

ステップ	REST API	コメント
2	/4.1/schedules	Modify any built-in schedule 指定したスケジュールを変更します。手順1で指定したスケジュール名を渡し、スケジュールの新しいcron式を作成します。

停止したジョブを失敗としてマークするREST API

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMware vSphere ClientのジョブIDを検索するには、VMware vSphereのREST API呼び出しを使用する必要があります。これらのREST APIは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 4.4で追加されました。

各APIについて、REST APIの先頭にhttps://<server>:<port>を追加して、完全なエンドポイントを形成します。

実行中状態で停止しているジョブを失敗状態に変更するには、[Jobs]セクションで次のREST APIを使用します。

REST API	コメント
/4.1/jobs/{id}/failJobs	実行中の状態で停止しているジョブのIDを渡すと、はfailJobs それらのジョブを失敗としてマークします。実行中の状態で停止しているジョブを特定するには、ジョブ監視GUIを使用して各ジョブの状態とジョブIDを確認します。

監査ログを生成するREST API

監査ログの詳細は、swagger REST APIおよびSCVプラグインのユーザーインターフェイスから収集できます。

次に、Swagger REST APIを示します。

1. GET 4.1/audit/logs：すべてのログの監査データを取得します
2. GET 4.1/audit/logs/ {fileName}：特定のログファイルの監査データを取得します
3. 4.1/audit/Verify後：監査ログの検証をトリガーします。
4. GET 4.1/audit/config：監査およびsyslogサーバの設定を取得します
5. PUT 4.1/audit/config：監査サーバとsyslogサーバの設定を更新します

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere REST APIを使用してVMware vSphere Clientジョブの監査ログを生成するには、VMware vSphereのREST API呼び出しを使用する必要があります。

各REST APIについて、REST APIの先頭にhttps://<server>:<port>/apiを追加して完全なエンドポイントを形成します。

ジョブの詳細情報を取得するには、[Jobs]セクションで次のREST APIを使用します。

REST API	コメント
4.1/audit/logs	整合性データを含む監査ログファイルを返します。
4.1/audit/logs/{filename}	整合性データを含む特定の監査ログファイルを取得する
4.1/audit/verify	カンサケンシヨウノトリガー
4.1/audit/syslogcert	syslogサーバ証明書を更新します

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。